

だんないの道

第8号

2013年3月28日発行

発行者：NPO法人CIL だんない

代表者：美濃部裕道

連絡先：〒529-0423 滋賀県長浜市
木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつP1
活動報告P2
コラム よりの雑記帳P4



代表あいさつ

昨シーズンに引き続き、全国的には厳しい冬となりましたが、湖北では予想していたよりも雪が積もらずに済みホッとしています。ただ、朝に来るヘルパーにとっては雪道やアイスバーンによるノロノロ運転によって出勤時間に影響が出たこともありました。その間、私は毎朝、いつ来るかわからないヘルパーを祈る思いで待っていました。漁師の奥さんも、こんな気持ちなのかと…(笑)

先日、長浜養護学校の卒業式に出席させていただきましたが、在学中の12年間を懐かしみながら「自分も年をとったなあ」という思いに浸っていました。世間では別れと出会いの季節ですが、だんないにはその感覚があまりなく、たんたんと日々の活動をしています。そんな中、産休で休んでいた職員が4月に復帰することになりました。私たちは、再びだんないの戦力として活動してもらえることに大きな喜びを感じながら、その日を待ちわびているところです。

今、障害者関連の情勢は岐路に立たされていると感じています。まず、県内では昨年秋頃から降って湧いたように出てきた障害者差別禁止条例（仮称）作りへの動きが急に盛り上がってきています。4月以降、その動きが加速されることを願いつつも、中身が骨抜きにされずに、また当事者の意見を最大限に盛り込まれる条例かを注視しなければならないと考えています。

そして、国のほうでも障害者差別禁止法の制定に向けた取り組みがされています。昨年、政権交代があり民主党から自民党に政権が移ったことにより、差別禁止法の制定が限りなくゼロに近くなったと言われていました。しかし、最近その情勢は少し変わってきており、制定に対してかたくなに後ろ向きだった議員がワーキンググループを作って勉強会を開くなど少しずつ態度を変えてきたようです。とはい

っても、制定が現実味を帯びてきたというわけではないので、今が差別禁止法の制定に向けた勝負の分かれ目だと思います。また、3月14日には、成年後見制度における選挙権の喪失は違法であるとの判決が出たことにより、公職選挙法の改正を求める動きも活発化することが予想されます。

このような動きの中で、だんないは3年目を迎え、5月26日（日）午後から2周年記念シンポジウムを長浜勤労者総合福祉センター（臨湖）にて行います。今年のテーマは「障害当事者の生活と尊厳」です。尊厳死法案制定や出生前診断の臨床研究の動きが進む中で、湖北地域において重度障害者の自立生活をどのように保障していくかを、皆さんと考えます。是非、お問い合わせのうえ参加してください。

この1年を振り返ると、だんないでは自立支援協議会への出席や、小中学校・高校への講演、毎月おこなったピア・カウンセリング講座など、いろいろな活動ができました。会員の皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。何かと出費が多い折ではありますが、今年度の会費納入がお済でない方はご入金ください。来年度も引き続き、暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

美濃部 裕道

活動報告

日付	内容	参加者
12月23日	「ダウン症でなにがわるいねん」 (大阪府立男女共同参画・青少年センター)	頼尊
1月8日	JR 東日本交渉	頼尊
1月9日	アクセス関西事務局会議	頼尊
1月10日	障害者総合福祉法骨格提言の完全実現と障害者差別禁止法の制定をめざす全関西集会	美濃部、頼尊
1月11日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部、頼尊
1月17日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
1月20日	だんないピアカウンセリング講座	
1月23日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	美濃部、頼尊
1月25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 作業部会	美濃部、頼尊
1月28日～30日	JIL 全国セミナー	美濃部、頼尊
1月31日	第3回全関西集会実行委員会	頼尊
1月31日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会事務局会議	頼尊

2月6日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局会議	頼尊
2月7日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
2月7日	JCIL 学習会	頼尊
2月7日	権利擁護（ぼてとファーム）	美濃部
2月8日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部、市川、頼尊
2月9日	複合差別と福祉支援—女性障害者問題を通して— （大阪市社会福祉研修・情報センター）	美濃部、小里
2月9日	愛知障害フォーラム地域フォーラム 「差別禁止法（仮称）って何？」	頼尊
2月12日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会	
2月15日	差別禁止 TRY 全体会議	頼尊
2月16日	ふりいくす	頼尊
2月18日～19日	ヒューマンネットワーク熊本 バリアフリー研修第2期	美濃部、頼尊
2月20日	「阿倍野おにごっこ」第1回実行委員会	頼尊
2月21日	TRY 事務局会議	頼尊
2月22日	伊吹山中学校講演	美濃部、市川
2月23日	ぼてとファーム事業団評議委員会	美濃部
2月23日	劇団金太郎飴第45回公演「ほんとうは僕殺したん じゃねえもの」	頼尊
2月23日	自立生活プログラム「WBCを見に行こう」	美濃部、頼尊
2月24日	だんないピアカウンセリング講座	
2月25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局会議	頼尊
2月25日	TRY 事務局会議	頼尊
2月26日～28日	JIL ピアカウンセリングリーダーシップ講座	美濃部、頼尊
3月1日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	頼尊
3月3日	映画「逃げ遅れる人々」関西初上映会	頼尊
3月3日	「人工呼吸器選択を考える」(大津ふれあいプラザ)	美濃部
3月4日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第3回運営委員会	美濃部、頼尊
3月4日	福祉教育懇談会（ボランティアセンター三島荘）	美濃部
3月7日	大阪障害フォーラム（ODF）団体交流会	頼尊

3月7日	福祉教育懇談会（やすらぎハウス）	美濃部
3月8日	長浜養護学校第31回高等部卒業式	美濃部
3月8日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会	
3月10日	障害を持つ人の虐待防止セミナー	美濃部、頼尊
3月11日	JIL 関西ブロック研修会	頼尊
3月12日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
3月12日	長浜米原障がい者自立支援協議会 第3回全体会議	美濃部、頼尊
3月13日	改正 NPO 法に基づく基準講座	美濃部
3月14～16日	JIL ILP リーダーをやりたい人の体験研修	頼尊
3月15日	第34回長浜養護学校小・中学部卒業式	美濃部
3月16日	第27回「国際障害者年」連続シンポジウム	美濃部
3月18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 事務局会議	
3月22日	就労継続支援 A 型のあり方を探る懇談会 （ぼてとファーム事業団）	美濃部、頼尊、小里
3月27日	「阿倍野おにごっこ」第2回実行委員会	頼尊
3月30日	あるるセミナー「みんなの手でつくろう！ 障害者差別禁止法」	頼尊

コラム

ヨリの雑記帳（7）

いつもながら、編集日ぎりぎりになってこの「雑記帳」の原稿を書いている。横で、本誌発行責任者が、「はよ、書いて」って。ん、それがなかなか書けなかった。今ようやく、書いている。

今日の話題は、「地方の楽しみ方」である。最近の私はというと……。だんないが DPI（障害者インターナショナル）日本会議や JIL（全国自立生活センター協議会）などに加盟させてもらってからというもの関連行事の参加などで、あちこちを旅する。それと同時に、私に関係している「アクセスマニア集会」での発表が7月に迫っているのでその予備的調査も平行して行っている。今年の発表テーマは、なんと「船」なので、これまた船酔いと戦い（？）もある。

そんなこんなで、旅をよくする。最近是新幹線が九州の鹿児島から東北の青森まで全通し、各地には空港が開港し、LCC（ローコストキャリア）という格安航空会社も誕生したので、都市間移動が今ま

で以上に楽になった。それらの快適かつ便利な乗り物を車いすユーザーが利用しようとする、たとえば空港から最寄りの町までの移動手段がないなど、まだまだいきなり「バリア君」が立ちはばかることも多い。

いろいろな状況はさておき、そのように移動が短時間で出来るため、行程に「移動日」をもうけなくてもよくなった。だが、そのなかで、交通手段は、もっぱら都市間移動のためにあるものになってしまった。先日、例の「アクセスマニア集会」の取材をかねて、山陽地方のローカル線を旅した。これは、前回の「雑記帳(6)」にすでに報告した東北本線に行く旅に続き、第2弾となる。ちなみに第3弾は九州の某ローカル線であった。

ローカル線の旅は楽しい。そこには、地方に生きる人々の人生の足跡がある。新幹線が停車する駅などは、大手デベロッパー(開発業者)が特定の発想で町を開拓する。だから、似たような構造になってしまう。それに対して、地方の町は、そのような業者の入っていない、または愛想を尽かせた町たちである。前者はまだしも、後者は何とも言い難い。

思い出すと、九州地方の中核都市の空港のバリアフリー化を空港関係者と協議していた時、東京から来た某デベロッパーは「東京ではない九州の空港だから、バリアフリー化はこんなくらいでいい」と言いはなった人がいた。そのような発想で開発されていった都市も、少なくないだろう。また地方の商業ビルには東京や大阪に本社があるテナントが入り、どの都市に行っても、同じようなテナントの顔ぶれを見せてくれる。

話を戻そう。そのような開発が入ってない町には、それら独自の町の歩みがある。もちろん、バリアフリー的には大都市に比べては不便なところも多々ある。だが、そこでしか味わえないものも多々ある。本来なら、日本の面積の大多数はそのような地方の町で構成されているはずが、振り返ると、そのような町に「郷愁(きょうしゅう: 故郷を懐かしく思う気持ち)」すら覚えてしまう。「ローカル線の旅」と題した旅行番組もあるが、それらの番組の狙いも「郷愁」であろう。つまり、多くある地方の町の存在を忘れ、大都市の発想にいかにも毒されているかがわかる。

それぞれの街や町の楽しみ方がわかってこそ、ほんとうの意味で楽しめるのかもしれない。そこに郷愁ではなく、本来のローカルの楽しみ方があるように感じる。僕にとっては伊吹の山々と賤ヶ岳に見守られながら生活している「今」が、郷愁やスローライフではなく、どこにでもある日本の地方都市の生活そのものだと感じている

町の楽しみ方は、人それぞれだと思う。しかし、私にとっては郷愁やスローライフのように、美化された幻想の中に地方の町を当てはめるのではなく、ドロドロした人間臭さの中にこそ、楽しさがあると感じる。それは、デベロッパーに開発されていった殺風景な街々に対して、本当の人間の温かさであり、そこに苦悩しながらも生きる人々の営為(いとなみ)であると感じる。だからこそ、今、住んでいる木之本と同じような町々を旅するのがやみつきになるのである。

さて、次はどこへ行こうかなあ。

(よりたか つねのぶ)



NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬

TEL : 0749-50-3639

URL : www.ab.auone-net.jp/~dannai

FAX : 0749-50-3961

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない